栄養教諭等を中心とした食育の事例紹介

|  |  |
| --- | --- |
| 1. 学校名
 | 大阪府立堺聴覚支援学校 |
| 1. タイトル
 | かみかみ週間 |
| 1. 日　時
 | 令和元年１1月12日（火）～11月15日（金）給食時間　各学部 |
| 1. 内　容
 | 【活動内容】　・給食の献立によく噛む食材・メニューを使用　・食材に関するクイズや歯に関するクイズを出し、給食時間に食指導　・学部ごとに「かみかみ週間」の啓発ポスターを作成　【子どもの様子】　・給食室から配付される給食だよりをよく見ていた。　・意識して噛んでいる様子が見られた。　・クイズは語彙や内容が難しかったが、楽しんでいた。　・子どもによっては咀嚼が大変であった。　・よく噛む食材（たくあん）を知っている子どもが少なかった。【教員の感想】　・「噛むことの大切さ」を担任がクラスで話すきっかけになった。　・クイズは有効で、クラスで楽しめた。　・何かイベントがあれば食材の話題へつなぐことが出来て、何となく食べるより良かった。　・噛むことを意識するので、食べるのに時間を多く使う子どもは更に時間がかかった。　・「食べること」に課題がある子どもの場合は、「噛む」指導にまでつながらないこともあった。 |